

ふくおか & MAFF

2020.2
vol.9

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。

Contents

- ➔ 講演会・パネルディスカッションに参加しませんか
- ➔ 総合化事業計画認定証交付式を行いました
～ うるう農園（久留米市）～
- ➔ 意見交換を行いました～（有）グリーンハート安田花卉～



～農業分野におけるSNS時代に対応した情報発信と販売戦略について～ 講演会・パネルディスカッションに参加しませんか



スマートフォン経由のインターネットサービス利用者が増える中で、SNSは情報収集・発信の手段として社会の中で急速に普及しています。

農業分野においても、SNSを活用した情報発信を行い、顧客との新たな関係を構築し、販売促進に役立っている事例等が生まれています。

このような状況を踏まえ、農業者・地域と消費者の「SNSを通じたつながり」や販売について考える場を提供し、農業分野における情報発信力の強化及び販売促進に資することを目的に開催します。

日時

令和2年3月4日（水曜日）
14:00～16:15（受付13:30）

場所

第三博多偕成ビル 4F 大会議室
福岡市博多区博多駅南1-3-6

1. 基調講演 14:05～14:45

演題 「知ってしまえばもう怖くない！SNS要注意リスクtop10」
講師 農林水産省大臣官房広報評価課広報室長 安川 徹



2. パネルディスカッション 14:55～16:15

パネリスト（農業者）

● 各務 栄作氏
（株）エフワイアグリ
豊前市でベビーリーフ等を生産



<https://fyagri.jp/>

● 久間 正大氏
おぼろ夢茶房
八女市で茶等を生産



<http://kumaen.net/>

● 桑野 由美氏
くわの農園
福津市で米、いちご、
キャベツ等を生産



<https://www.k-nouen.com/>

コーディネーター

田中 美智子氏
（株）トータルオフィス・タナカ
（6次産業化プランナー）



パネリスト（消費者）

竹田 マキ氏
モデル事務所
（有）オフィスノール



<https://www.office-noir.jp/>

古澤 法子氏
九州産業大学生命科学部
生命科学科 学生



白糸農園と大学との
コラボ開発

パネリスト（市町村）

堤 暁子氏
久留米市農政部
農政課長



久留米産農産物
PR動画

申込締切
2月25日（火）
参加費無料
定員50名

お申込みはこちらから

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/kyusyu/form/200210.html>



←スマートフォンの方はこちらのQRコードから



総合化事業計画認定証交付式を行いました ～ うるう農園（久留米市）～

観光農園、食育活動もやっています。いちごは通販もありますよ！



うるう農園の古賀さん
(左から1番目)

令和元年12月27日付けで、六次産業化・地産地消に基づく総合化事業計画が認定された、うるう農園に認定証の交付を行いました。

今後、特別栽培により自家生産した「いちご(あまおう)」を活用し、「**完熟あまおうジェラート**」の販売に取り組まれます。

① うるう農園のサイトはこちら
<https://uluu-noen.jp/>

② いちご専用サイトはこちら
<https://uluu-noen.com/>



※「総合化事業計画」とは、農林漁業者等が地域の農林水産物の生産加工及び販売を一体的に行う事業活動の計画です。国の認定を受ければ、様々な支援を受けられます。

農山漁村の6次産業化について(九州農政局HP)

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/seiryuu/syokuhin/rokozika/index.html>



意見交換を行いました ～ (有)グリーンハート安田花卉 ～

(有)グリーンハート安田花卉(宮若市)

【法人設立】平成15年11月

【従業員数】9名(役員3名、正社員3名、パート3名)

【経営面積】露地花木 約7ha

【生產品目】花卉全般約50品目(サカキ

・シキミ・モモ・ヒバ・松・ナンテン・サクラ等)、ゆでたけのこ、正月用品(しめ飾り・ミニ門松等)



【受賞歴】

○令和元年(安田克徳氏)

「第44回福岡県竹林品評会
たけのこ生産林部門 農林水産大臣賞」

○平成28年(安田一平氏)

「全国青年農業会議プロジェクト発表会 園芸・特産作物部門
農林水産大臣賞(最高賞)」



安田花卉の取り組み

① 花きの収益増を目指す

・花は国内需要、価格とも低下傾向であるが、サカキは仏神関係で年間通した需要があり、価格も安定している。生産者の減少もあり、生産が追い付かない状況。

・花屋からの直接注文等も市場経由にすることで、配達的时间短縮やコスト削減を図っている。

② 竹林の整備によるたけのこ生産の安定供給

・たけのこの安定出荷を目指し、数年前から竹林の集約的かつ持続的な生産のため、作業時間の短縮、経営の安定化を目指して栽培方法を研究。

③ 新しい取り組み

・種苗会社との連携により新品種栽培等にも挑戦。

・フラワーアレンジメントを通して花の魅力をPR



以心伝心ライブ

花き農業について思うこと

① 新規就農にはハードルが高い

・園芸作物のように、過去のデータから、予め収入の目途を立てることが難しい。

・花木は販売までに数年を要するものも多く、経営が不安定である。

・花き生産は作業スピードに個人差があり、新規就農者へ確実に作業を伝えにくい。

② 輸出について

《花卉の輸出促進イベント(上海)に参加して》

・上海には、ヨーロッパ等から良質、多品目の花が輸入され、日本の花と比べても見劣りしない。

・当社は現在、輸出を行っていないが、輸出に取り組むには、海外市場の調査等を行った上で計画を立てるべき。また、花の種類を特定せず、盆栽や茶道と一体化した生け花など、日本文化として海外に売り込む方がよいのではないかと。

今後の展望

・単収の増加とともに、安定した価格で、良質な製品を販売したい。

・九州だけでなく、全国で流通出来るような品目にも取り組んでいきたい。

お客さんに頼られる会社でありたい。

・消費者が求めるものを

第一に、「(有)グリーンハート安田花卉に頼めば、何でも揃うという会社になりたい！」



【お問合せ先】九州農政局福岡県拠点地方参事官室
〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-17-21 TEL 092-281-8261(代表)
<http://www.maff.go.jp/kyusyu/fukuoka/index.html>